

## 日本人の3人に1人が、毎日お風呂掃除をしている カビ対策は、カビ取り剤とカビ予防剤の併用が主流

～風呂掃除なら俺に任せろ！男性の4割がお風呂掃除を担当～

株式会社プラネット(所在地:東京都港区、代表取締役社長:田上正勝)は、消費財にまつわるトピックスをお届けする「Fromプラネット」の第13号として、カビ防止剤・カビ取り剤に関する意識調査の結果をご紹介します。

### ■やっぱり日本人はキレイ好き。4割の女性が、毎日、浴室を掃除している

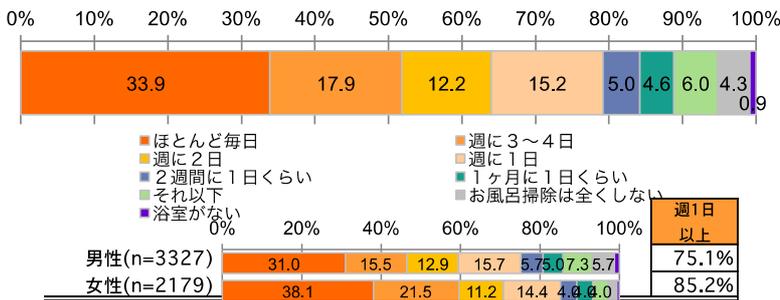
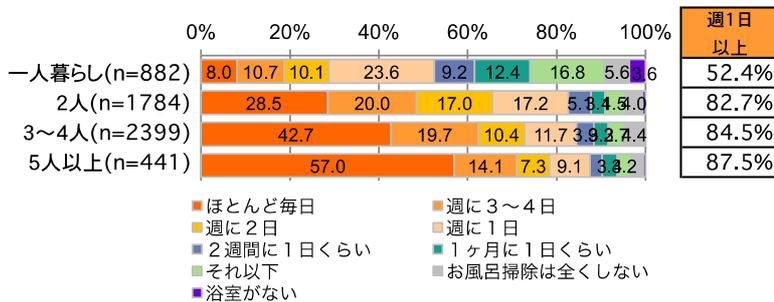


表 1:「あなたのご家庭では、お風呂掃除をどのくらいの頻度でしますか」についての回答



出典: インターワイヤード株式会社が運営するネットリサーチ『DIMSDRIVE』実施のアンケート「防カビ剤(お風呂掃除・浴室掃除)」。  
調査期間: 2015年4月17日~5月1日、DIMSDRIVE モニター5,506人が回答。表2~表3・エピソードの出典も同アンケートです。

### ■お風呂掃除は、男性の負担率が意外に高かった

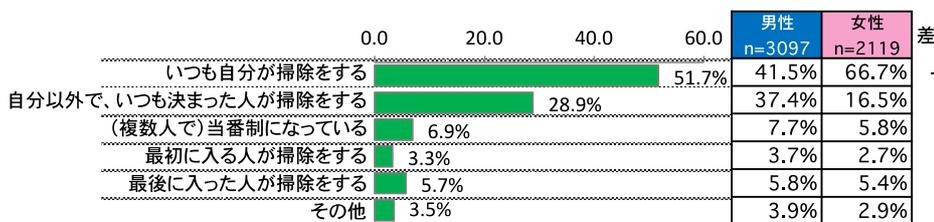


表 2:「あなたのご家庭では、お風呂掃除はどのようにされていますか」についての回答

次に、お風呂掃除の当番は誰なのかについて聞いてみました。すると、男性の41.5%から、「いつも自分が掃除をする」との回答が得られました。男性の家事参加率が低いと言われる日本ですが、そんな中で4割の男性がお風呂掃除を担当しているというのは、他の家事と比べて、高い割合と言えるのではないのでしょうか。お風呂掃除は

重労働ゆえに男性の手を借りたいという女性が多いはず。そんな声に答えてくれる男性が増えつつあるのではないかと感じられる調査結果でした。

## ■カビの生える場所のイメージが、男女でこんなにも違った

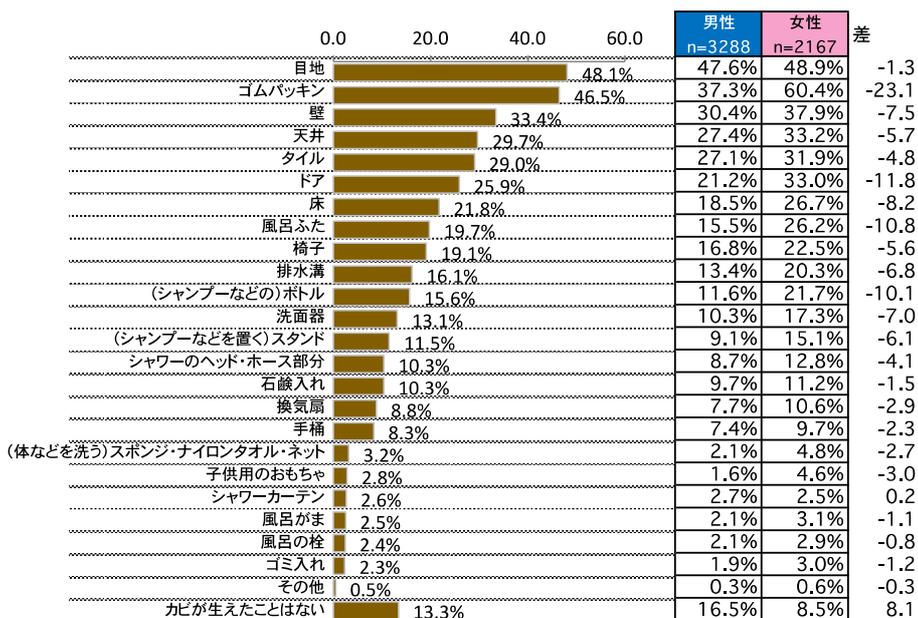


表 3:「浴室内でカビが生えたことがある場所・ものはどれですか」についての回答

お風呂掃除で最も大変な“カビ取り”。カビが生えたことのある場所やものについて聞いてみました。

僅差ですが、1位が「目地」48.1%で、2位が「ゴムパッキン」46.5%、3位は「壁」33.4%となりました。興味深い点は、男女でカビの生える場所のイメージがかなり違うこと。浴室の床や壁に使われているタイルの継ぎ目の「目地」は、男女で共通の認識でした。しかし、浴室に使われる密閉ドアの部品、「ゴムパッキン」は男性の認識が低く、女性が特に気になっている場所でした。6位の「ドア」も男女で認識の差異が大きかったため、男性がそれほど注視していないのは「ドア付近」と言えるのかもしれませんが。

## ■カビ対策は、スプレータイプのカビ取り剤とカビ防止剤の併用が主流

購入個数順位	メーカー名	商品名
1	ジョンソン	カビキラー つけかえ
2	花王	強力カビハイター つけかえ 400ml
3	花王	強力カビハイター ハンディスプレー 400ml
4	ジョンソン	カビキラー 本体
5	ジョンソン	アクティブ酸素で落とす 洗たく槽カビキラー
6	ライオン	ルックおふろの防カビくん煙剤
7	ライオン	ルックおふろの防カビくん煙剤 せっけんの香り
8	花王	花王 強力カビハイター本体+付替えベアセット
9	ジョンソン	カビキラー 本体 トライアル 320g
10	ライオン	ルックおふろの防カビくん煙剤 3個パック
11	アース製薬	アースレッド お風呂の防カビ剤 ローズの香り 1個
12	ジョンソン	カビキラー ベアパック 本体+付替
13	アース製薬	アースレッド お風呂の防カビ剤 フローラルハーブの香り 1個
14	ジョンソン	ゴムパッキン用カビキラー
15	ジョンソン	カビキラー 電動スプレー替え
16	リンレイ	つやピカワックスシート 無香料の香り
17	花王	強力カビハイター つけかえ 特大 1000ml
18	ライオン	ルックおふろの防カビくん煙剤 せっけんの香り 3個パック
19	ジョンソン	カビキラー特大サイズつけかえ
20	ジョンソン	カビキラー 除菌 キッチン 替 2P

(注)カスタマー・コミュニケーションズ株式会社が構築・運用する購買行動全国パネルデータ「TRUE DATA」を使用。全国ドラッグストア600万人、食品スーパー250万人の購買履歴および個人を特定しない性別・年齢等の消費者属性情報を市場インデックスデータに加工、提供。ドラッグストアでのカビ防止剤・カビ取り剤カテゴリーにおける2015年1月から2015年3月までの購入個数順位を表示。

カスタマー・コミュニケーションズホームページ: <http://www.truedata.co.jp/>

では、カビ対策にどんな商品が利用されているのか、みてみましょう。1位から4位の「カビキラー」や「強力カビハイター」は、スプレータイプのカビ取り剤です。カビが出来てしまった箇所に散布して、しばらく放置した後、水で流すもの。薬剤が浸透して、できてしまったカビやカビの胞子を根絶します。

これに対して、カビができる前の防止剤もランクインしています。除菌効果のある煙を蒸散することで、浴室全体のカビの原因菌を取り除く「ルック おふろの防カビくん煙剤」や「アースレッド お風呂の防カビ剤」。できてしまったカビを取り除くのは苦労を要します。現在、防カビ剤でカビができるのを食い止めるのが当たり前になりつつあるようです。

また、先のアンケートで、カビの生える場所のイメージに女性の多くが「ゴムパッキン」と答えていましたが、このニーズに応えた「ゴムパッキン用カビキラー」(ジョンソン)という、ゴムパッキン専用のカビ取り剤も14位にランクインして

います。さらに、防カビ剤の薬液の匂いが気になる人の要望に応じてか、ローズの香りや石けんの香りなど、芳香にも配慮された「アースレッド お風呂の防カビ剤」も選ばれています。カビ取り&防止剤の分野でも、時代とともに変化する消費者のニーズに沿った商品が登場しているのは、非常に興味深いことではないでしょうか。

## ■換気は必須! お酢スプレーで撃退など、カビ予防策に皆が本気だった

「裏ワザ・オスメのカビ予防対策」があればご記入ください	年代	性別	浴室掃除頻度
24時間換気を使用。	70代以上	男性	3.週に2日
エタノールがよいと聞いたので、浴室用の洗剤に混ぜて使っている。	30代	女性	1.ほとんど毎日
お酢を薄めてスプレーしている。	40代	女性	3.週に2日
お風呂の水を捨てる時に塩素を入れて暫くしてから流す。	50代	男性	4.週に1日
お風呂場の中に、石鹸・シャンプー・リンス・お風呂洗剤等を置かないようにしています。	50代	女性	4.週に1日
カビは熱湯に弱いと聞いたので、時々熱湯をかけている。	30代	女性	3.週に2日
カビ取りをつけた部分にラップをして少し置くこと。	30代	女性	2.週に3~4日
タイルの目地のカビをとる時に、食パンを閉じるときに使っているプラスチックでこすると良く落ちます。	60代	女性	3.週に2日
マイナスイオン発生器を使用。	60代	男性	7.それ以下
レモンの絞りかすでする。	60代	女性	3.週に2日
わさびを水で薄めてスプレーする。	40代	女性	1.ほとんど毎日
銀の洗面器を置いておく。	40代	女性	2.週に3~4日
最後に入った人が風呂の壁など水滴が残らないよう拭き取る。	50代	男性	1.ほとんど毎日
使用後は必ず冷たい水を壁、床などにシャワーする。	60代	男性	2.週に3~4日
時々、塩素を染み込ませたキッチンペーパーを気になるところに張り付けておき、少し放置してから洗い流す。	30代	女性	4.週に1日
重曹水をスプレーする。	40代	女性	1.ほとんど毎日
熱湯をかける。	50代	男性	4.週に1日
毎日、お風呂から出るときに、冷たい水を風呂場中にかけます。カビが出にくくなります。	30代	女性	4.週に1日
目地にシリコン系のシーラントを塗る。	50代	男性	4.週に1日
目地は定期的にカビ取り剤をスプレーする。	60代	女性	1.ほとんど毎日

さらに、カビ予防&カビ取りの失敗談を紹介し  
ます。多く寄せられたのは、「カビ取り剤をマスク  
やメガネをせずに使い、体調が悪くなった」と  
いうもの。メーカーもマスクやメガネを付け、換  
気しながらの使用をすすめています。忘れがち  
ですが、正しく使用したいものです。また、「薬  
剤で洋服を漂白してしまった」といった、衣服の  
トラブルも寄せられました。特に大事な衣服だと、  
落ち込みますよね。万が一漂白してしまっても  
いいような服に着替えてから、カビ取りを行うの  
が得策のようです。

「旅行などで家を空けた時、換気が不十分で  
カビが生えてしまった」という回答もありました。  
カビ予防に換気が必要不可欠であることを物語  
るエピソードです。

以上、お風呂にまつわるカビ予防対策&カビ取りについての調査でした。これらのアンケートから見てきたのは、男性のお風呂掃除率が高いということ。そして、できたカビを取ることに、できないように予防することにも、皆が苦労しているということでした。これからやってくる梅雨の季節は、カビにとってのパラダイス。寄せられた裏ワザや失敗談を参考にしながら、カビ知らずの爽やかなバスタイムを満喫したいものです。

### 株式会社プラネットとは

メーカー、卸売業、小売業がサプライチェーンとして連携し、生活者へのサービス向上を目指して進化を続ける日本の消費財流通を、情報インフラとしてサポートしている企業です。

### From プラネットとは

消費財流通における業務効率化を支えるEDI(電子データ交換)やデータベースサービスを提供する株式会社プラネット(東証JASDAQ上場、証券コード: 2391)をご紹介します。旬の消費財にまつわるトピックスです。

### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社プラネット 管理本部 経営企画部 (小中、岡田)  
Tel : 03-5962-0811 / E-mail : keiei@planet-van.co.jp

最後に、みんな苦労している、カビ予防策の裏ワザと、失敗談を聞いてみました。まずは、カビ予防の裏ワザから。特に多かった回答は、「よく換気する」というもの。防カビ対策の基本中の基本かもしれません。また「最後にお風呂に入った人が、浴室の水滴を拭き取る」という回答もありました。湿気はカビの増殖につながるので、気をつけたいポイントです。

カビ防止剤に頼らず「エタノール、お酢、重曹水、わさび水などを散布する」という意見も寄せられました。お酢はアルカリ性の汚れを中和する働きがあるのだとか。アルカリ性の汚れとは、カビの原因になる、水アカや石けんカスなど。正しく使用すれば、効果が期待できるかもしれません。

カビ予防対策やカビ取りで「失敗した」エピソードがあればご記入ください	年代	性別
アルコールで拭いたら壁の塗料が溶けた。	60代	男性
カビ取り剤をマスクをしないで使ったら、のどがイガイガしてつらかった。以来、マスク、タオルで重装備しています。	60代	女性
カビ取り剤の散布を忘れて、普通に掃除を始め、衣類が色抜けした。	50代	女性
塩素系の洗剤を使ってお湯で洗ったら湯気がかぶれた。	50代	女性
外出用の服を着替えずに掃除してしまい、スカートを漂白してしまいました。	40代	女性
高圧洗浄機でカビを取っていたら、防水塗装まで剥がれてしまった。	40代	男性
市販のカビ取り剤を天井から全て振りまくったら流しても数日、塩素臭かった。	60代	女性
酒風呂でカビが増えた	50代	女性
漂白剤の液だれジミができてしまった	40代	女性
予防対策での失敗。冬でも窓は開けてるのだが、温度が低くて風呂場室内が乾かない。古い家であちこちすきまだらけなので、風呂場からの風が入り寒いだけだった。	40代	女性
旅行で家を空けた時、風呂のふたを取っておけばよかったが、取り忘れ、カビを発生させた。	60代	男性
あらゆる壁が白く幕がかかったようになった。	40代	女性
カビ取り剤を浴槽にかけてしまって、禿げたことがあった	60代	女性